

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【公表番号】特表2006-501479(P2006-501479A)

【公表日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2006-002

【出願番号】特願2004-541914(P2004-541914)

【国際特許分類】

G 0 1 N	33/53	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/543	(2006.01)
G 0 1 N	33/577	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	33/53	D
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/543	5 4 5 Z
G 0 1 N	33/577	B
C 0 7 K	16/18	Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月4日(2006.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

変形性関節炎または関節リウマチを患う患者におけるI型およびII型コラーゲンの相対的な切断を検出する方法であって、C₂Cネオエピトープに対するC₁、2Cネオエピトープの比を決定するステップを含む方法。

【請求項2】

前記比の結果が高いことにより、非全身性変形性関節炎のその後の進行が大きいことが予期される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記変形性関節炎が膝の変形性関節炎である、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記比の結果が低いことにより、関節リウマチのその後の進行が大きいことが予期される、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

生物学的サンプルにおける C₂C ネオエピトープに対する C₁、2C ネオエピトープの比を決定する方法であって、

- a) 前記 C₂C ネオエピトープを、これに結合する抗体と接触させるステップと、
- b) ステップ a) における前記抗体の前記 C₂C ネオエピトープへの結合を測定するステップと、
- c) 前記 C₁、2C ネオエピトープを、これに結合する抗体と接触させるステップと、
- d) ステップ c) における前記抗体の前記 C₁、2C ネオエピトープへの結合を測定するステップと、
- e) ステップ b) および d) における結合の比を決定するステップとを含む方法。

【請求項 6】

ステップ a) における前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

ステップ c) における前記抗体が、ポリクローナルまたはモノクローナル抗体である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

ステップ b) および d) における前記結合が、酵素に結合体化された標識された抗体を用いて測定される、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 C₂C ネオエピトープが以下のペプチド配列を有する、請求項 5 に記載の方法。

C - G - G - E - G - P - P (O H) - G - P - Q - G (C O L 2 - 3 / 4 C_{long mon} ペプチド) (配列番号 1)

【請求項 10】

前記 C₁、2C ネオエピトープが以下のペプチド配列を有する、請求項 5 に記載の方法。

C - G - P - P (O H) - G - P - Q - G (C O L 2 - 3 / 4 C_{short} ペプチド) (配列番号 2)